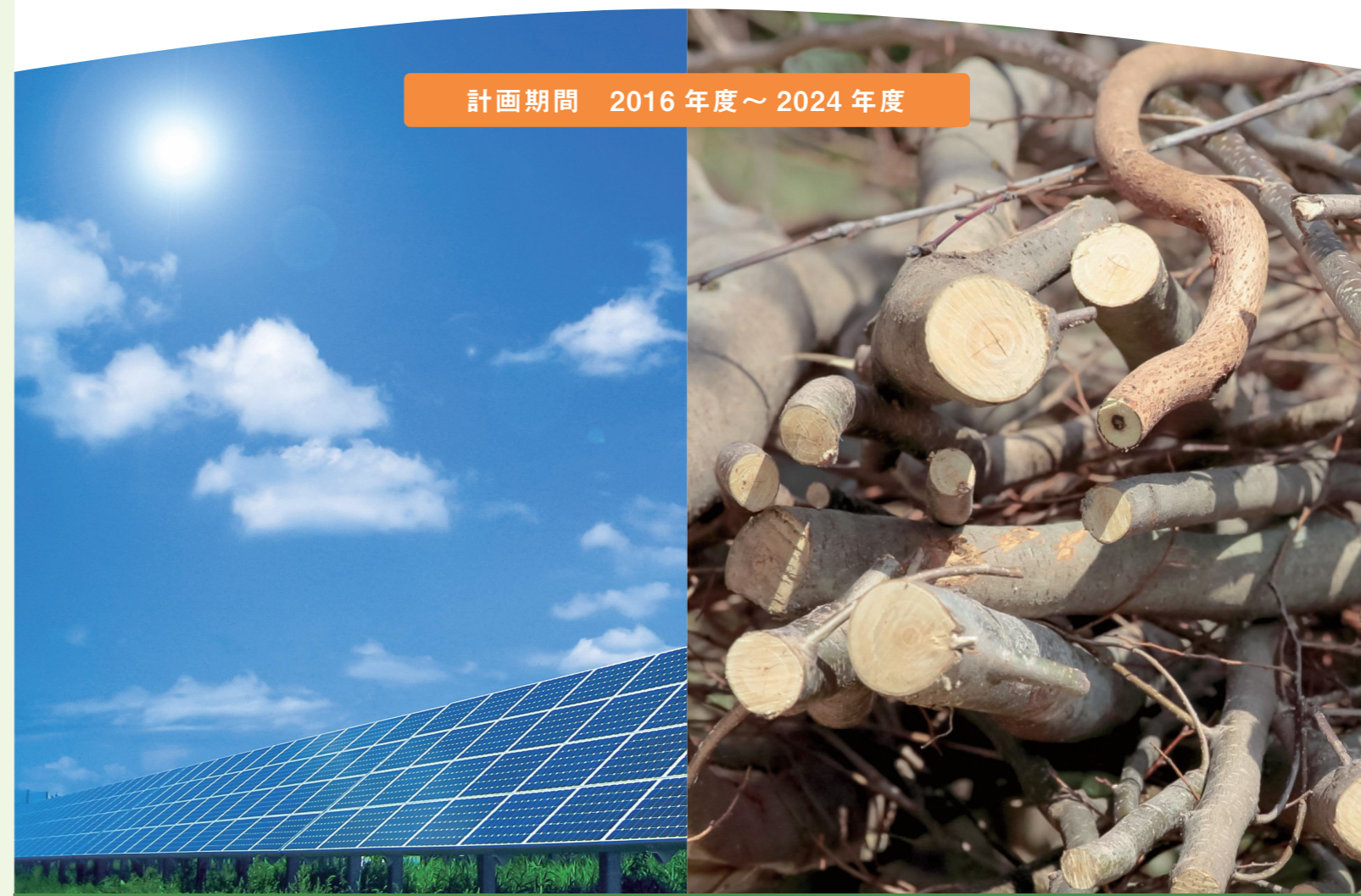




八百津町

再生可能エネルギービジョン

計画期間 2016年度～2024年度



太陽エネルギーと木質バイオマスによる **発電** **熱利用**

八百津町は、町内の約8割が森林に囲まれた岐阜県内の典型的な中山間地に位置する町です。昨今では、杉原千畝によるビザ発給の記録が2017年のユネスコ「世界の記憶」の登録に向けて申請されるなど、注目を浴びる機会が増えてきており、国内外から観光客が多く訪れるようになりました。しかし、他方では産業の低迷、人口の減少、そして災害時のエネルギー供給に対する対策の遅れなど、様々な社会的課題を抱えており、海外からのお客様に対して“おもてなし”できるような環境や体制は十分ではありません。

このため、八百津町では地域の資源を上手に活用し、国際的にも問題となっている地球温暖化の防止に寄与するとともに、「住みやすく・観光客が訪れる・魅力あるまち」として次世代に繋いでいくため、「八百津町再生可能エネルギービジョン」を策定しました。

将来像

八百津町の地域資源を活用した 100%エネルギー自給自足のまちづくり ～住みやすく・観光客が訪れる・魅力あるまち 八百津～

八百津町の資源を活用

地域に必要なエネルギーを地域に豊富にある資源（太陽光と木質バイオマス）でまかなうことで、町内で資源と富が循環し、町外に富が流出しないまちを目指します。

経済的な相乗効果により、地域内で様々な仕事（産業）が生まれることで、地域が豊かになり、人々にとって住みやすいまちを目指します。

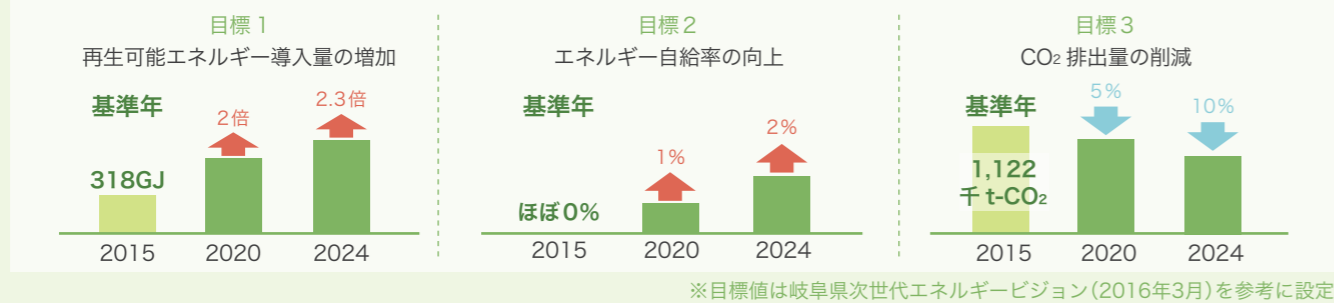
100%エネルギー自給自足

地域の資源を活用して町内で消費されるエネルギーをまかなうことで、低炭素なまちとして地球温暖化対策に寄与すると同時に、災害によるエネルギーの遮断や化石燃料の高騰による経済への影響などを受けないまちを目指します。

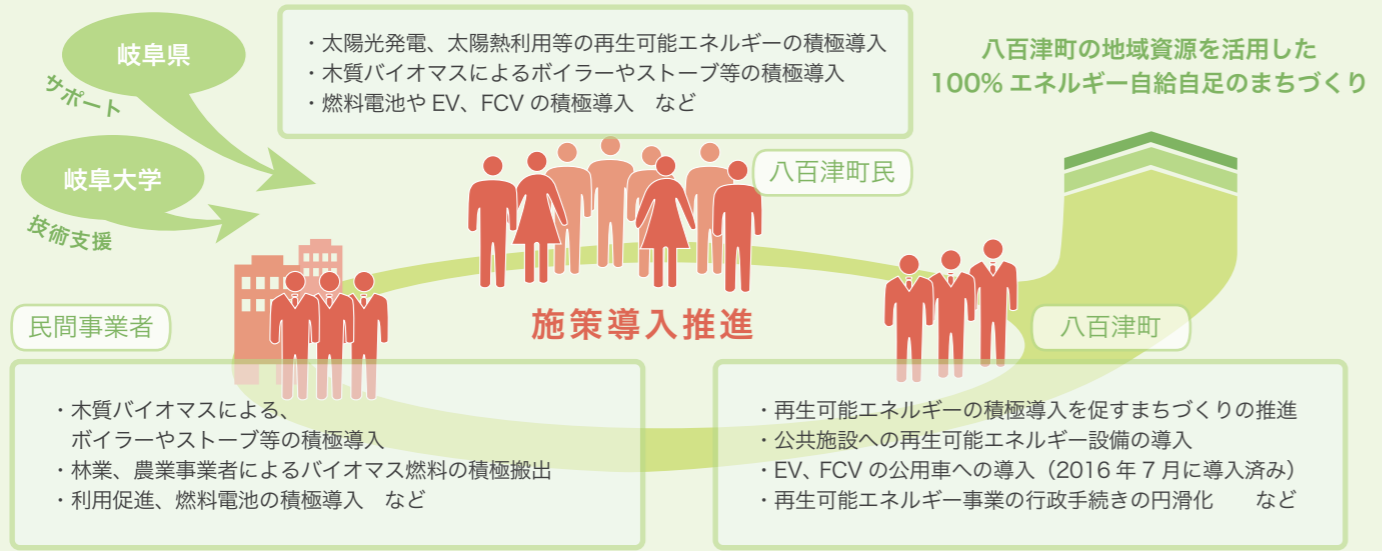
住みやすく・観光客が訪れる・魅力あるまち

災害時のエネルギー確保が可能なまちとして、人々が安心して暮らせる住みやすいまちになり、そして、世界に誇る中山間地の低炭素なまちとして、観光客が訪れるまちを目指します。再生可能エネルギーの利活用により、町民が幸せと感じ、町外の方が暮らしたいと思う様な“住みやすいまち”を、そして、まちの活性化につながる“観光客が訪れるまち”をつくることで、“魅力あるまち 八百津”を目指します。

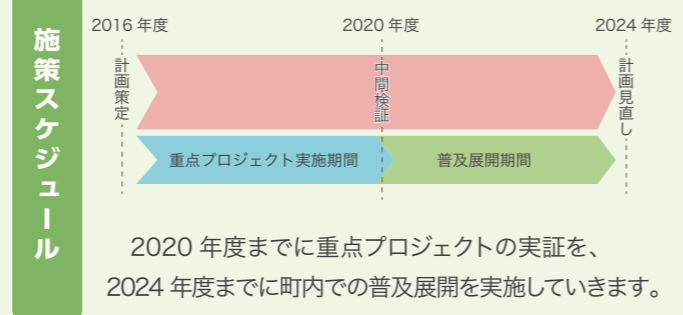
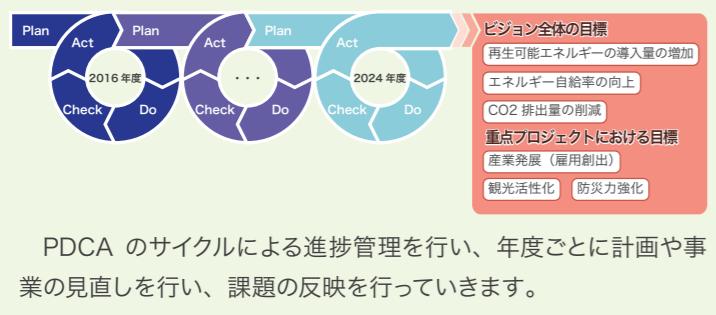
目標



推進体制



進捗管理システム



お問い合わせ先

八百津町 総務課
〒505-0392 岐阜県加茂郡八百津町八百津3903番地2
TEL 0574-43-2111 FAX 0574-43-0969

八百津町の地域資源を活用した100%エネルギー自給自足のまちづくり
 住みやすく・観光客が訪れる・魅力あるまち 八百津

再生可能エネルギーの活用における 基本方針と利活用策

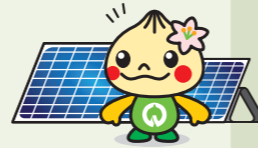
創 基本方針1 エネルギーを創る

■ 太陽エネルギーによる発電・熱利用

民間施設、公共施設、耕作放棄地、空地等に太陽光・熱パネルを設置し、発電・熱利用を行います。

■ 木質バイオマスによる発電・熱利用

小型の木質バイオマス発電設備を導入し、地域由来の木材資源をエネルギー源に発電・熱利用を行います。



蓄 基本方針2 エネルギーを蓄える

■ 蓄電池の導入

再生可能エネルギーを効率よく利用するために、余剰電力を蓄える設備として導入します。



■ 水素製造・貯蔵設備の導入

再生可能エネルギーを効率よく利用するために、余剰電力を水電解により水素に変換し貯蔵する設備として導入します。

利 基本方針3 エネルギーを利用する

■ 木質バイオマス設備の導入

木質バイオマスを燃料とするポイラーやペレットストーブを民間・公共施設等に導入し、暖房・給湯に利用します。



■ EV・FCVの導入と普及に向けたインフラ整備

公共から民間にわたってEV・FCVの導入を促進します。なお、EV・FCVは蓄電の機能も持っているため、災害時の電力源としても利用できます。

■ 燃料電池の導入

水素をエネルギー源とする燃料電池を民間・公共施設等に導入し、電気・熱の利用を行います。使用する水素は再生可能エネルギー由来を基本とします。

■ エネルギーマネジメントシステムの導入

再生可能エネルギーによる不安定な電源を効率よく活用し、エネルギーの需要と供給のバランスや逆流による電力品質への影響を解決するシステムを導入します。

■ 熱電供給システムの導入

木質バイオマス発電や燃料電池により発電・熱利用したエネルギーを他の施設に供給するシステムを導入します。

プロジェクトの
方向性

1

地域資源を有効に活用

2

自立分散型による
防災力強化

3

産業や観光など地域の
活性化への寄与

重点プロジェクト

～利活用策を普及促進していくためのプロジェクト～

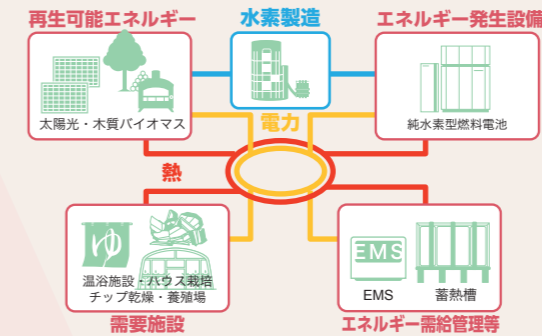
産官民での方針と重点プロジェクト

産

資源循環の仕組みを創りだし、地域活性化に繋がる事業を積極的に実施

重点プロジェクト1 新産業創出 + 災害時拠点活用プロジェクト

100%八百津産のエネルギーを活用した“新たな産業創出”のモデル地域



新産業への熱電供給による
スマートコミュニティネットワークの構築

- ・再エネによる熱と電力のエリア供給
- ・木質バイオマス発電
- ・再エネ水素による熱と電力の災害時の電力供給による産業の防災力強化



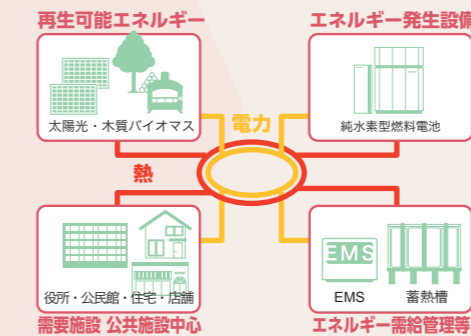
久田見
地区

官

災害時の防災力強化に向け、公共施設にて積極的に導入

重点プロジェクト2 災害時拠点活用プロジェクト

100%八百津産のエネルギーによる“安全・安心な中山間都市”のモデル地域



公共施設への熱電供給による
スマートコミュニティネットワークの構築

- ・再エネによる熱と電力のエリア供給
- ・再エネ水素による熱と電力の災害時避難所施設への電力供給



八百津
地区

民

省エネ及び災害時の防災力強化に向け、住宅にて積極的に導入

重点プロジェクト3 個別施設省エネプロジェクト

杉原千畝と100%八百津産のエネルギー活用の相乗効果による“県随一の観光都市”



施設毎にエネルギーの自給自足が可能な
自立分散型システム

- ・再エネによる施設の省エネ化



全地区